平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月26日

上場会社名　四国化成工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4099　URL　http://www.shikoku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O.　(氏名) 山下　矩仁彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　企画・管理担当　(氏名) 富田　俊彦　TEL 0877-22-4111
四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日　配当支払開始予定日　平成23年12月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,490	△1.9	2,829	△9.0	2,737	△7.1	1,572	21.1
23年3月期第2四半期	20,894	4.4	3,107	25.0	2,947	24.9	1,298	△9.5

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,205百万円　(70.8%)　23年3月期第2四半期　705百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.89	—
23年3月期第2四半期	22.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	57,825	37,052	63.6	629.55
23年3月期	56,351	36,143	63.7	614.06

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　36,805百万円　23年3月期　35,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00			
24年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	△0.1	5,200	△10.2	5,200	△7.3	3,000	8.8	51.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	58,948,063 株	23年3月期	58,948,063 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	485,528 株	23年3月期	480,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	58,464,473 株	23年3月期2Q	58,477,307 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

頁

１．当四半期決算に関する定性的情報.....2

(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....2

(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....4

(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....4

２．サマリー情報（その他）に関する事項.....4

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....4

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....4

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....4

３．四半期連結財務諸表.....5

(1) 四半期連結貸借対照表.....5

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....9

(4) 継続企業の前提に関する注記.....10

(5) セグメント情報.....10

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間(平成23年４月１日～平成23年９月30日)の当社グループを取り巻く経済環境は、平成23年３月に発生した東日本大震災の影響により、極めて深刻な状況よりスタートしましたが、サプライチェーンの復旧に伴い持ち直しの動きが続いています。

しかしながら、電力供給不足の問題に加え、歴史的な円高水準による輸出競争力の低下や産業空洞化、また海外でも欧州諸国の財政・金融危機による信用収縮や新興国経済の変調など、国内外とも依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、当第２四半期連結累計期間の売上高は204億90百万円（前年同期比1.9%の減収）、営業利益は28億29百万円（前年同期比9.0%の減益）、経常利益は27億37百万円（前年同期比7.1%の減益）となり、東日本大震災の影響による需要の落ち込みや、円高の影響を受け、前年同期に対して減収・減益となりました。

また、四半期純利益は15億72百万円（前年同期比21.1%の増益）となり、資産除去債務に関する会計基準適用による特別損失を計上した前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化学品事業

(無機化成品)

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は円高の影響を受けましたが、販売は好調に推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素や、浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、シェアの拡大と採算性の改善に努めました。

(有機化成品)

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は円高の影響を受け、輸出が低調に推移しました。排水処理剤であるハイポルカは市場開拓に注力しました。

(ファイン　ケミカル)

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは円高の影響を受け、輸出が伸び悩みました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、国内販売・輸出ともに安定して推移いたしました。

この結果、化学品事業の売上高は127億88百万円（前年同期比5.3%の減収)、セグメント利益は27億68百万円（前年同期比10.6%の減益)となりました。

②建材事業

住宅投資は低水準ながらも持ち直しの兆しがありますが、非住宅投資、公共投資を含めた建築需要全体では、依然として厳しい状況が続いております。

(壁材)

湿式壁材市場の停滞により、低調に推移しました。

(エクステリア)

景観分野の販売は前年並みで推移しましたが、住宅分野は前年を上回る水準で推移しました。

この結果、建材事業の売上高は73億35百万円（前年同期比5.5%の増収)、セグメント利益は８億30百万円（前年同期比9.9%の増益)となりました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品　（百万円）	4,039	4,639	114.9
有機化成品　（百万円）	4,802	4,086	85.1
ファイン　ケミカル　（百万円）	4,659	4,063	87.2
小計　（百万円）	13,500	12,788	94.7
建材事業			
壁材　（百万円）	1,342	1,315	98.0
エクステリア　（百万円）	5,611	6,020	107.3
小計　（百万円）	6,954	7,335	105.5
報告セグメント計　（百万円）	20,454	20,124	98.4
その他　（百万円）	439	366	83.3
合計	20,894	20,490	98.1

（注）　上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	
	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	売上高（百万円）	連結売上高に占める海外売上高の割合(%)
アジア	3,498	16.8	3,506	17.1
北米	2,761	13.2	2,089	10.2
その他の地域	356	1.7	474	2.3
合計	6,616	31.7	6,069	29.6
連結売上高	20,894		20,490	

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債及び純資産の状況）

総資産は、前連結会計年度末比14億73百万円増加し、578億25百万円となりました。主な増加は、現金及び預金20億38百万円、建設仮勘定９億８百万円、主な減少は、受取手形及び売掛金16億18百万円、機械装置及び運搬具（純額）３億61百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比５億64百万円増加し、207億73百万円となりました。主な増加は、長期借入金（１年内返済予定を含む）15億30百万円、主な減少は、支払手形及び買掛金12億86百万円であります。

純資産は前連結会計年度末比９億８百万円増加し、370億52百万円となりました。主な増加は、利益剰余金12億79百万円、主な減少は、その他有価証券評価差額金３億32百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.7%から63.6%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、23億17百万円（前年同期比６億21百万円の減少）となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益27億15百万円、売上債権の減少額15億46百万円、減価償却費７億30百万円、一方で主な支出項目は、仕入債務の減少額11億65百万円、法人税等の支払額11億10百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、14億32百万円（前年同期比１億39百万円の増加）となりました。主として、有形固定資産の取得による支出７億50百万円、投資有価証券の取得による支出５億74百万円であります。

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、12億59百万円（前年同期比19億14百万円の増加）となりました。主として、長期借入れによる収入19億円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、89億47百万円（前連結会計年度末比20億38百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、当初の計画（平成23年４月26日発表）を変更しておりません。なお、下期の主要な為替レートは、77円／米ドル、105円／ユーロと想定しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,909	8,947
受取手形及び売掛金	13,487	11,869
商品及び製品	4,778	4,864
仕掛品	124	140
原材料及び貯蔵品	2,044	2,136
繰延税金資産	684	648
その他	55	64
貸倒引当金	△7	△2
流動資産合計	28,077	28,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,817	4,912
機械装置及び運搬具（純額）	2,747	2,385
土地	8,603	8,602
建設仮勘定	219	1,127
その他（純額）	483	407
有形固定資産合計	16,870	17,436
無形固定資産	139	225
投資その他の資産		
投資有価証券	8,927	8,942
繰延税金資産	1,686	1,910
その他	651	660
貸倒引当金	△0	△19
投資その他の資産合計	11,264	11,494
固定資産合計	28,274	29,156
資産合計	56,351	57,825

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,442	6,156
短期借入金	2,050	2,100
1年内返済予定の長期借入金	689	857
未払法人税等	1,101	1,090
役員賞与引当金	53	26
その他	3,100	3,467
流動負債合計	14,437	13,698
固定負債		
長期借入金	1,029	2,391
再評価に係る繰延税金負債	1,858	1,858
退職給付引当金	2,080	2,037
役員退職慰労引当金	276	273
資産除去債務	344	345
負ののれん	1	1
その他	180	167
固定負債合計	5,770	7,074
負債合計	20,208	20,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	21,582	22,862
自己株式	△285	△287
株主資本合計	33,906	35,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	△74
繰延ヘッジ損益	△0	2
土地再評価差額金	1,993	1,993
為替換算調整勘定	△254	△299
その他の包括利益累計額合計	1,996	1,621
新株予約権	39	39
少数株主持分	201	207
純資産合計	36,143	37,052
負債純資産合計	56,351	57,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
売上高	20,894	20,490
売上原価	12,741	12,689
売上総利益	8,152	7,800
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,462	1,411
広告宣伝費	365	330
給料	929	932
役員賞与引当金繰入額	25	26
退職給付費用	121	105
役員退職慰労引当金繰入額	23	23
研究開発費	531	492
その他	1,583	1,649
販売費及び一般管理費合計	5,044	4,971
営業利益	3,107	2,829
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	126	165
雑収入	42	11
営業外収益合計	172	180
営業外費用		
支払利息	26	23
売上割引	51	53
為替差損	248	186
雑損失	6	8
営業外費用合計	333	272
経常利益	2,947	2,737
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	―
特別利益合計	0	―
特別損失		
固定資産除却損	23	22
投資有価証券評価損	295	―
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	313	―
特別損失合計	633	22
税金等調整前四半期純利益	2,314	2,715
法人税等	1,008	1,135
少数株主損益調整前四半期純利益	1,306	1,579
少数株主利益	7	7
四半期純利益	1,298	1,572

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,306	1,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△531	△332
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	△73	△45
その他の包括利益合計	△600	△374
四半期包括利益	705	1,205
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	697	1,197
少数株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,314	2,715
減価償却費	770	730
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△54	△42
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	11	△3
受取利息及び受取配当金	△130	△168
支払利息	26	23
投資有価証券評価損益（△は益）	295	―
有形固定資産除却損	23	22
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	313	―
売上債権の増減額（△は増加）	1,445	1,546
たな卸資産の増減額（△は増加）	213	△223
仕入債務の増減額（△は減少）	△979	△1,165
その他	△294	△152
小計	3,956	3,281
利息及び配当金の受取額	129	168
利息の支払額	△26	△22
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,120	△1,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,939	2,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△860	△750
有形固定資産の除却による支出	△10	△8
投資有価証券の取得による支出	△426	△574
その他	5	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,292	△1,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△50	50
長期借入れによる収入	100	1,900
長期借入金の返済による支出	△376	△369
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△292	△292
その他	△32	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△655	1,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143	△106
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	848	2,038
現金及び現金同等物の期首残高	5,696	6,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,544	8,947

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,500	6,954	20,454	439	20,894	－	20,894
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	123	125	△125	－
計	13,501	6,954	20,456	563	21,019	△125	20,894
セグメント利益	3,098	755	3,854	45	3,899	△791	3,107

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△791百万円には、セグメント間取引消去△０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△791百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,788	7,335	20,124	366	20,490	－	20,490
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	105	106	△106	－
計	12,790	7,335	20,125	472	20,597	△106	20,490
セグメント利益	2,768	830	3,599	14	3,613	△784	2,829

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△784百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△784百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。